

令和4年度安曇野市教育委員会 8月定例会会議録

日 時：令和4年8月30日（火）午後1時30分

場 所：安曇野市役所3階 会議室301

<出席者>

教育委員：教育長 橋渡勝也、教育長職務代理者 須澤真広、教育委員 横内理恵子、

教育委員 二村美智子、教育委員 羽田野賢二

事務局：教育部長 矢口泰、学校教育課長 太田雅史、学校給食課長 高橋秀行、

生涯学習課長 深澤与志章、文化課長 山下泰永、こども園幼稚園課 佐々木真貴

学校教育課学校教育担当係長 中村正勝

書記：学校教育課教育総務係長 山田なつ子、教育総務係 岩月風香

傍聴者：報道機関 1名、傍聴人 1名

請願者：請願者 1名、補佐人 2名

◎開 会

教育部長 定刻になりましたので、ただいまから安曇野市教育委員会令和4年8月定例会を開会いたします。

◎教育長あいさつ

教育部長 橋渡教育長、ご挨拶をお願いいたします。

教育長 8月定例会の開会に当たり、ご挨拶申し上げます。

安曇野市立小中学校及び、こども園・幼稚園はお盆休みが明け、新たな学校・園生活がスタートしております。活気が戻ってきた一方、新型コロナウイルス感染症につきましては、陽性が判明し、出席停止になっている園児・児童生徒や教職員の感染者数が高止まりの状況が続いております。感染症対策をしっかりと講じながら、学びの継続に努めているところでございます。

今後、2学期は、委員の皆様と共に、可能な限り学校や園を訪問し、教育・保育の現場を見て、課題の把握に努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

では、本日もご審議よろしくお願ひいたします。

◎発議による非公開案件の決定について

教育長 それでは、本日の会議事項における公開、非公開についてお諮りいたします。

教育委員会の会議については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項において、「教育委員会の会議は公開する。ただし、人事に関する事件、その他の事件について、教育長または委員の発議により、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、これを公開しないことができる」と規定されております。

本日の協議事項・報告事項について、安曇野市情報公開条例第5条第1項第5号、市、国、独立行政法人等、他の地方公共団体及び地方独立行政法人の内部または相互間における審議、検討又は協議に関する情報であって、公にすることにより率直な意見の交換もしくは意思決定の中立性が損なわれるおそれのある案件として、議案第2号、報告第4号を、第5条第1項第2号、個人に関する情報で特定の個人が識別され、または識別され得るもので、個人情報保護に該当する案件として、報告第7号及び報告第8号の2件を非公開とするよう発議いたします。

このことに関して、委員からご意見はありますか。

(発言する者なし)

教育長 ないようですので、議決に移ります。

それでは、先に申し上げました協議事項1件・報告事項3件について、非公開とすることに賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

教育長 ありがとうございます。

3分の2以上の挙手がありましたので、本日の会議において非公開とする案件は、議案第2号、報告第4号、報告第7号及び報告第8号と決定いたしました。会議の順番につきましては、まず、請願第1号の審議を行い、その後、議案第1号及び議案第3号から議案第5号、報告第1号から報告第3号及び報告第5号、報告第6号を公開とし、以後、会議を非公開として、議案第2号、報告第4号、報告第7号及び報告第8号を扱います。

また、議案第5号に関わる申請書は、個人または法人にかかる情報が記載されているため、非公開といたします。

◎請願第1号

教育長 それでは、協議事項に入ります。

請願第1号について議題とします。説明をお願いします。

学校教育課長 「指定通学路の交通安全の確保を求める請願書」について資料により説明。

教育長 それでは、請願者及び補佐人から、説明をお願いいたします。

請願者 「指定通学路の交通安全の確保を求める請願書」について資料により説明。

補佐人A 「指定通学路の交通安全の確保を求める請願書」について説明。

補佐人B 「指定通学路の交通安全の確保を求める請願書」について説明。

請願者 補足説明。

教育長 では、次に事務局から、現状等について申し述べるがありましたらお願いいたします。

学校教育課長 経過・現状について説明。

教育長 それでは、ただいまより請願者及び事務局への質疑に入ります。委員からご質問がございましたらお願いいたします。

須澤委員 質問をさせていただきます。

資料Eについてお話をお聞きしたいのですが、お話のAさん宅です。

(個人情報につき省略)

私が質問したい趣旨は、このAさんも同じ区民ですから、区としての要望をこのお二人なりAさんに出されたことはないでしょうか。つまり、ブロック塀がたしかここにあると思うのですよね。詳しくは見ていないので分かりませんが、例えば塀の角はちょっと低くなるかとか、要望はなされたのかという質問でございます。

請願者 私のほうからお伺いしたことはありません。私は移住して6年になります。それから、新田区の区長にそのことをお伺いしたこともありません。つまり、思ってもみなかったことを、今、指摘されたので、そういうことをしたほうがいいなと改めて思いました。

前から新田区にお住まいの会長は、今のAさん宅のお話を。

補佐人A 今まで住宅が建っていて車も止まっていたので、そういう更地になるというこ

とを知りませんでした。つい最近になって更地になったという話を聞いたものですから、そういう話は一切していません。

須澤委員 （個人情報につき省略）

ですので、区民総意ということで、こここのところを安全な通路になるように善処してほしいというお話をすることもできるのではないかなと、私は思ったものですから、質問を兼ねてご意見・ご提案も申し上げました。

教育長 では、他の委員の方々、いかがでしょうか。

二村委員 保護者の方や、また市民の方々の持つ見識だったり、また感覚であったり、地域の方々の思いをいただきました。新学期が始まりまして、通学路が、子どもたちの安全を確保することが、子どもの命を守る一番の方法であると感じています。

私も現場はよく通る道なので、冬などは車で運転していても怖いと思うような場所だなというふうに思っています。ましてや歩行者であるとか、子どもたちを含んでですけれども、もっと怖い思いをしているのではないかなと感じています。

具体的にいろいろな保護者であったり子どもたちであったりから意見を聞いていらっしゃる中で、何が一番、今、必要か。先に必要であると思われることは何だと感じていますか。

これは、市民の方々と教育委員会とは共有をして、いろんな他の部局とも相談を進めながらやらなければいけないことだなと感じておりますが、全部を全部ではなくて、まずは一つ、一番先というのは何だと考えられていますか。

補佐人B 通常に歩道の幅の確保と、あとは信号待ちの待避所のスペースの確保。あと、可能であればガードレールだと思いますが、それは次の段階でいいから、まずは歩道の幅と、信号を待っている待避所のスペース。最低限、子どもの目線、親の目線、職員さんの目線、誰が見ても明らかに安全であるだろうというのが目で見て分かると思うので。明らかに今この交差点では、狭かったり危ないということが先に走っているので、一番欲しいのは歩道の幅と、あと待避所の幅が欲しいですという声が上がっています。車とすれすれで、小学校低学年のお子さんは飛び出したりとか、男の子なんてやんちゃだったりして本当にもうドキドキされているので、少しでも寄れる幅、歩道の幅というのと、待っているときに少し動いてもある程度許されるような待避スペースが、常識的な範囲であればいいと思います。

二村委員 ありがとうございます。

教育長 では、次の質問、お願いいたします。

横内委員 どの親も、朝、「行ってらっしゃい」と出ていった子どもが、「ただいま」と帰っ

てくるまでは、様々な心配があります。子どもの通学路の安全のことであるので、重要なご意見だなどと思って聞かせていただきました。

事務局に質問させていただきます。

先ほどのお話の中に、十数年来の課題であった交差点と、この通学路の問題ということですが、その改善が遅々として進まなかった主な原因を端的に教えていただけますでしょうか。

学校教育課長 進まなかったところというのは、私どもも要望等を地区等からいただいて、持っていたのですが、実際他の部署等の都市建設課とか、そういう部署とも一緒にやっていくわけで、そういう形で点検等も行っていく中で、まず、土地の関係です。拡幅等の関係については、やっぱり地権者等の関係もありますので、そこの交渉等も進まないということもあります。そこが一番のネックになっている部分かなとは思いますが。

以上になります。

教育長 横内委員、よろしいですか。

横内委員 はい。

教育長 では、次に羽田野委員。

羽田野委員 請願者様におかれましては、子どもの安全を一番に考えていただいて、本当にありがとうございます。我々も、児童生徒の命や安全を守ることというのは一番大事だと思っております。

それで、事務局に質問なのですが、今、請願されている内容は、市道1082号線と新田中の交差点の改良ということで、もっと具体的に言うと、先ほどの歩道の確保ですとかガードレールの設置ということになってくると思うのですが、このことを進めていくために、教育委員会の権限でできる措置というのは何かあるのでしょうか。

学校教育課長 私どもは、こういう意見をいただいて現地に行って、どういう状況かというのを研究しながら、他の部署等と連携を取りながらやっていくわけなのですが、私どもがその地権者の方に直接指示をしたりとか、開発行為等や道路標識等そういう部分について、指示というか、直接手を下すということはできません。なので、どうしてもそういう部署の、責任のある都市建設課などに申し出るなり、また地権者等にも、私どものほうからお願いというか、考慮してくださいということは言えるのですが、なかなかこのようにしろというような、命令というか、そういうものはできませんので、そういうものがどうかというのを、まず私どものほうで確認させていただいて、それを実際にそこの担当になっている部署なり地権者さんなりにお願いをしていくというような形しかないと考えております。

以上です。

教育長 よろしいですか。

では、他のご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。ありませんか。

(発言する者なし)

教育長 それでは、質疑を終了といたします。

請願者及び補佐人の方々は、傍聴席のほうへご移動をお願いいたします。

それでは、本請願について審議をいたします。委員からのご意見をお願いいたします。

須澤委員 ただいまの請願及び事務局のご回答等をそれぞれ考えますと、これは、私が、私どもというイメージでしょうか、現地を自分の目で見て、足で歩いて確認が必要だというふうに思います。この場では、判断を下すということは、見た上でないとできないのではないかと。

ですので、先ほどの事務局のご回答にもありましたように、関係部署担当者もできるならばご同行いただいて、現地調査等を行いたいと。

したがって、今日は継続審査とすべきであろうと考えます。

以上です。

教育長 ただいま須澤委員から、本審査については継続審査にしたい旨、発言がございました。

このことについて、ご意見がございましたらお願いいたします。

羽田野委員 要望になります。子どもの安全を確保するというのと、命の関わることでございますので、教育委員会としてできる限り可及的速やかに行動を起こして対応していくことが必要と考えますので、なるべく早い進め方をご検討いただきたいと思います。

教育長 では、横内委員。

横内委員 私も、須澤委員、羽田野委員同様に賛成いたします。

今まで見ているようで見落とししていた通学路の危険な場所があるということに違いはないと思います。指摘された箇所をいま一度確認して対処する必要があるのではないかなと思います。権限のあります市長部局、都市建設課なりと情報の共有もしてもらいたいと思います。その上で、安全な方策を講じる必要があるのかなと思います。

以上です。

教育長 二村委員、お願いします。

二村委員 子どもの安全を守るということは当然のことですので、私も情報不足ではないと思います。現地を目視で確認をいたしまして、そして、他の市長部局と、求めるこ

とは同じことなので、何ができるかを、またみんなで考えていきたいなと思います。少しお時間をいただければなと考えています。

教育長 それでは、改めてただいまの継続審査の発言についてお諮りしたいと思います。

指定通学路の交通安全の確保を求める請願書について、継続審査とすることに賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

教育長 ありがとうございます。

挙手全員であります。よって、請願第1号は継続審査と決定いたしました。

なお、委員からのご意見でございますように、本件については調査をできるだけ速やかに実施するよう、事務局に申し上げます。また、審査の日程につきましても、1か月後の9月定例会を待たずにできるようであれば、速やかに実施してほしいと、このように思います。

では、以上で請願第1号の審査は終了といたします。

請願者及び補佐人の皆さん、ありがとうございました。

◎議案第1号

教育長 それでは、引き続きお願いいたします。

議案第1号についてを議題といたします。説明をお願いいたします。

教育部長 教育部全体に関わることは私からご説明させていただきますが、個別具体的な案件につきましては、各担当課長から説明並びにお答えをさせていただきますので、お願いします。

それでは、議案第1号について、学校教育課長よりご説明いたします。

学校教育課長 「令和3年度安曇野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書(案)について」資料により説明。

教育長 ただいまの件について、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

横内委員 評価シートは従来のものと変わりましたでしょうか。

学校教育課長 評価シートについては、前回、去年から、実際主要な事業について、市の中で行っております事務事業評価のシート、それをそのまま使わせていただくような形で、去年からそういう形に変えさせていただいております。

横内委員 従来のもの、過去のものも引っ張り出してきて拝見したら、今回のほうが私は見や

すかったので、よかったなと思います。

まず、A、B、Cと所轄の課が自己評価したものを、評価員3名の方が、この評価が妥当であるかどうかということを確認しての評価ということで認識していますが、それでよろしいですか。

学校教育課長 委員のおっしゃるとおり、そのような形でございます。

横内委員 その中で、Aはちょっとつけ過ぎではないかとか、Bではあるけれども、これは本当はAじゃないのかといった意見はありましたでしょうか。

学校教育課長 そうですね、このA、B、Cについては、特にこれは違うのではないかというようなご意見はなかったです。その他にもいろいろな意見はいただきましたので、それは一番後ろのほうに載っていますので、また見ていただけるかと思います。

以上です。

横内委員 では、内容のほうについて、続けて質問させていただきます。

19ページの教育支援センターの運営事業についてですけれども、先週24日に、教育委員の研修がリモートであったのですが、それに参加させていただいたときに、不登校児童生徒の学校以外の学びの支援の事例の中で、安曇野市の不登校支援コーディネーターとスクールソーシャルワーカーの連携についてということが、他の市町村に先駆けた取組として紹介されていました。子どもの状況やニーズに応じた学びの環境をつくって、子どもたちへの効果的な支援がうまくいきつつあることを、とてもありがたく思います。

次に、給食センターの関係ですが、43ページの堀金給食センターは、総合評価Cとなっております。どうしてCなのかなと思ったら、有効性のところが低くなっていました。見ていくと、地元の食材の使用率の目標値が達成されていないためなのかなと思うのですが、この目標値、地元の食材使用率の目標値が、センターごとによって違うのはなぜですか。

学校給食課長 目標値につきましては、各センターの目標値ということで設定させていただいております。北部と堀金が30%、中部と南部が25%ということで、目標値でございますので、各センターで達成できると思われる目標値を設定させていただいているところ、25%と30%ということで違いが出てきております。

堀金につきましては30%を設定させていただいていまして、目標値に達していないものから、シートの特性で、目標値に達していないと総合評価がCになってしまうということで、Cというふうに評価がつけられております。30%のところを29%なので、おおむね達成されていると考えていますし、堀金につきましては、地元ということで堀金の食材を主に取り入

れていますので、目標値に達していませんが、おおむね達成していると考えております。

以上です。

横内委員 なぜ北部のセンターと堀金センターは、地元の食材使用率を高いパーセンテージを設定しているのかということを知りたいです。

学校給食課長 堀金は、地元食材につきましてはJ Aと物産センター、北部につきましては、J AとV i f 穂高ということで、地元食材を地元の物産センターに供給を求めているところから、他の2センターより高い目標を設定していると考えます。

以上です。

横内委員 回答ありがとうございました。

全市でひとしくおいしい、安心・安全な給食の提供をとうたっているのですが、ここで堀金がCで、他がAとかと、ちょっと分からないなと。これは率直な感想です。どのセンターも頑張ってくださいということをおもっています。

このパーセンテージについては、ちょっとお考えいただきたいかなということをおもいました。

以上です。

学校給食課長 ご意見ありがとうございます。おっしゃるとおりで、私もパーセンテージ的には他のセンターと遜色ない、むしろ他のセンターより高い数字が出ているというところで、どうしても先ほど申しましたとおり、シートの特性で、目標値にいかなければCという評価が出てしまう、非常に残念な思いをしているところでございます。

天候に左右される部分もありますが、なるべく目標を達成できるように努めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

教育長 では、他の委員の皆さん、どうですか。

羽田野委員 私は昨年度までの評価シートはどうか分からないのですが、評価委員の先生方が評価されたことですので、内容的には異議はないのですが、この評価シートのところで、活動指標ですか。目標のところは、令和2年度・3年度、それから令和4年度の、多分これは今年度の目標数値をお書きいただいていると思うんですね。課題があつて、それを考えて4年度の目標値をお書きいただいていると思うのですが、できれば歳入歳出のところは、平成31年度・令和2年度・令和3年度になっているのですが、令和2年度・3年度の予算決算と、令和4年度の予算を書きいただくと、その課題解決に対する動きですとか目標値への整合性が分かりやすくなると思うのですが、ご検討はいただけないでしょうか。

学校教育課長 このシート自体、システムを使って行っているものですから、恐らく改修等をしないといけないのかなとは思っておりますが、また担当部署のほうに、そのような意見があったということでお話はしたいと思っております。

以上です。

羽田野委員 評価シートの中で、なかなかコロナの影響で人が集められないというところで、評価がちょっと下がってしまっているような事業が幾つかあると思います。例えば事務事業、これは評価Aなのですけれども、9ページの人権の尊重のところなのですが、人数がなかなか集まらない中で、もうそろそろ研修会とかそういうもののオンラインでの開催というのを研究していただいて、学習会等もオンラインで参加できるような仕組みづくり、そういった新しい運営の仕方を考える時期だと思うのですが、いかがでしょうか。

生涯学習課長 オンラインを使った講座の取組でございますけれども、まずは機器を使う、受講生の方々の機器に関する知識です。そちらの習得を進めないといけないかなということで、今、そういったICT講座とか、スマートフォンの講座とか、そういったもので一応基礎的な力を向上しようということで取り組んでいるところでございます。

以上でございます。

羽田野委員 このオンラインのところがうまくできるようになると、恐らくこの目標値というのは、意外と簡単に達することができるのではないかなと考えたものですから、そういうふうに入れさせていただいたのですけれども、是非検討をお願いいたします。

生涯学習課長 ありがとうございます。

教育長 では、他にございましたらお願いいたします。

須澤委員 2ページに自己評価が一覧で載っておりますが、例年、生涯学習課の自己評価が低かったのですが、Cが一つもない。非常に、27だけで、これは文化課ですが、Bだから、5段階評価でいけば4ということですよ。非常にいい充実感を持って中間評価ができたのだろうと思いました。

一方、文化課にCが多いということで、つまり波ということですよ。私は文化面の充実こそ安曇野市だと思っているのです。文化面の充実に重点を置いていただくと、この評価も非常に、ご自分たちの評価も満足度で上がるでしょうし、評価いただく皆さんも満足されるというふうに見させていただきました。

教育長 ありがとうございます。

他にございますでしょうか。

文化課長 貴重なご意見をありがとうございました。

やはり先ほどのお話にありましており、どうしても講座の人数だとか、受講者の人数ということで指標を出してしまっているものですから、コロナ禍ということで人数を絞ったり、あるいは中止になってしまったりという事業が多かったです。コロナ前ですと結構今まで来ていた人たちも、ご遠慮いただくような形になってしまったということで、このような形になってしまったということでもあります。

こういったコロナ禍ですけれども、昔に比べて、一方的に講師の方がしゃべるだとか、そういうことについては、人数制限が大分緩くなってまいりましたので、これからは徐々に元へ戻っていくかなと思いますし、こちらも努力をしたいと考えております。

以上です。

須澤委員 大いに期待をしております。

以上です。

教育長 ありがとうございました。

他にございませんか。

二村委員 感想を一つお伝えしたいなと思うのですが、感染症予防のために様々な事業の取組が遅れていたりという姿、様子が見てとれます。こればかりはもう仕方のないことなので、でも、それが総合評価に影響しているのでしょうか。21、22、23の前生涯学習課の中間の取組は全部Cになっておりますけれども、結果は出ずともそれまでの経過には意味があって、業務遂行の際に責任を持って最後までやり遂げていただいていると思うので、もう少し評価が上がってもよかったのかなと私自身は感じました。

以上です。

生涯学習課長 ありがとうございました。

教育長 ありがとうございました。

では、ただいまいただきました数々の意見を、是非今後に生かしていただきたいと思えます。

議案第1号 令和3年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書（案）については、承認ということでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

教育長 ありがとうございました。

◎議案第3号

教育長 続いて、議案第3号について議題といたします。説明をお願いいたします。

学校教育課長 「令和4年度交通事故0「ゼロ」プロジェクトについて」資料により説明。

教育長 ただいまの件について、ご質問、ご意見がございましたらお願いします。

横内委員 今年度も、交通事故0「ゼロ」プロジェクト、大事なプロジェクトが実施されるということは、大変いいことだなと思います。

厳しい意見を申し上げますけれども、聞いていただきたいです。

6ページにお示しいただいたポスターを拝見して、重点項目の一部の変更はありましたが、昨年度と特段変化は感じませんでした。学校教育課の中で、このポスターについて、昨年の反省、今年の工夫といった話合いはあったのでしょうか。

学校教育課長 そうですね、学校教育課の中で検討はさせていただきまして、やはり一番基本になる「止まる・見る・待つ」というのは、もうこれは通年というか、今までも行っていたわけですが、やはりこれが一番大事なことではないかということで、このような形にしております。

あと1点、今回の場合は、「通学路、スピード落として見える笑顔」という形で、今まで運転する側の標語というか、そういうものがなかったものですから、今回そういうものを一つ追加したらどうかということで、一応そういう形で、全体的な、幅広く意見を伺ってというわけではないですが、案という形で、学校教育課内で検討させていただいて、案をつくらせていただいております。

以上になります。

横内委員 ありがとうございます。

重点項目については、これはよろしいのではないかなと思います。

まず、ポスターそのものについてです。誰に対して、何を伝えるのか、何を訴えるのか。ポスターとはどういうものなのか。読む広告ならチラシであり、私はポスターはもっと感覚的なところに訴えるものと認識しています。これを見ることで、大人も子どもも効果が高まりやすいものにすべきではないかなと思います。

これを読ませていただいて、あれもこれも盛り込み過ぎていて、レイアウトの整理整頓ができていないと思うのは私だけでしょうか。他の委員の方の意見も是非お聞きしたいと思います。

私の意見は、大事なことを伝えるために、他の無駄な部分はそぎ落して、本当に伝えたい大事なことだけを残してほしい。一番上に大きく「0プロジェクト」とうたっているのに、右下にまた『「交通事故0」を目指しています』と重複していますよね。このメッセージの長文は、ポスターを配布する各所へ向けて、お願いの文書のようになっていますけれども、それだったら本当にポスターとは別の、本当の文書でよくないですかと思いました。小学校1年生が読むのには読めない漢字がありますので、ルビを振ってほしいなと思いますし、活動の具体については、全市的な運動にできたらということではありますが、学校の取組に期待するだけじゃなくて、何か我々も目に見ることができないのかなと思いました。

タブレットのお話、さっき出てきましたけれども、安曇野市にユーチューブの公式チャンネルがせっかくあるのですから、例えばこのメッセージの部分は、教育長が出てお伝えしたらどうか。そうしたら、字の読めない子どもたちも分かるし、今、タブレットで見ることもしできる。そんなことも思いました。

私の無事故に向けた取組はこうだと宣言するカードのようなもの、交通事故ゼロを宣言しますという投稿を、SNS、市のサイト等に投稿してもらうとか、何かできることはあるのではないかと。そういうことを思いました。

テーマとスローガンが重複しているこのポスターが、どうしても気になって、まだ案という段階で今回お示しされたので、去年は案ではなかったのもう直せなかったのですが、今年はまだ案となっているので、まだ直せるのかなと思って、一生懸命意見を申し伝えます。お願いします。

学校教育課長 貴重なご意見ありがとうございます。まだ案ですので、これをまた検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。

教育長 須澤委員、お願いします。

須澤委員 児童生徒が見て、なるほどと思うようにするのが、上の3点になると思うんですよね。赤字は全員分かると思います。ただ、その下の文面、これは、3番の意図と重複していて、2番の最後の項目も3番の枠内のことだと思うんですよね。ですから、1番は児童生徒の立場に立った文面にして、そして、2番の最後のものを3に移したほうが良いと。

全体的なこの文章ですけれども、もうちょっと字を大きくして、簡潔に。ちょっと遠くからも分かるくらいの大きさの字で書いていただいたほうが良いのではないかと。メッセージは多分本当に近くに行かなきゃ読めない。だから、これはこれで結構ですけれども、上の1、2、3を精査していただきたいなというふうに思います。

学校教育課長 この点についても、また検討させていただきます。ありがとうございます。

教育長 他にございますでしょうか。

二村委員 交通安全を意識するために、数字の「交通事故0」というものを強調するというのはすごくいいことだなと感じます。交通安全を意識するために、数字というのは、言葉よりもフレーズとしては強いものになるのではないかなと思うのですけれども、令和3年度の事故死が2,600人余り、負傷者が36万人余りという、何というか、もうちょっと強いメッセージを出してもいいのではないかと私は思いました。

子どもたちに呼びかけるもの、そして運転者に呼びかけるもの、これを入れると、ドライバー向けのメッセージをテーマにした3の「通学路、スピード落として見える笑顔」、これもいいかなと思うのですが、2番の「周囲にわかる意思表示」というのは、「手を挙げて、ここにいるよと登下校」みたいな。3番目でこれを使うのなら、2番も子どもが読んでも分かりやすい何か、もう少し工夫したほうがいいのではないかなと私は思いました。

昔のスローガンですけれども、「車は急に止まれない」みたいなインパクトのあるものを、市全体に呼びかけるためのものになればいいかなと私は感じています。

以上です。

学校教育課長 そうですね。確かに標語みたいな、やっぱりそういうリズム感のあるようなものというのがいいのかなというのは考えてはおりますが、なかなか出てこないのですけれども、そこは検討したいと思います。ありがとうございます。

教育長 羽田野委員。

羽田野委員 委員の皆さんが言われたとおりです。中身について言われたのですが、学校教育課でやるということなので、対象が小中ということになるかと思いますが、この交通事故0プロジェクトに併せて、例えばこども園・幼稚園のほうでは、何か交通安全に対することをやるのかどうなのかということをお聞きしたい。やっぱり自分の身を守ることというのは小さい頃からきちんと理解してもらうことが大事だというふうに思っていて、是非このプロジェクトに併せて、こども園・幼稚園でも何か交通安全教室等をしていただきたいかなというふうに思います。

やっぱり自分も小学校のときに受けた交通安全教室のことというのは、すごく鮮明に今でも覚えていて、目の前で事故の再現をしてもらったりだとか、その映像というのはすごく覚えていて、やっぱり記憶に定着しているんですね。だから、そういったことは、小さいうちから交通安全のルールというか、そういうことを学んでいただきたいと思うので、是非こど

も園・幼稚園のほうでも何かこういうことをしていただければいいかなというふうに思います。

以上です。

こども園幼稚園課長 ありがとうございます。

園のほうでは年に2回、大きな交通安全教室は行っています。後期のほうですけれども、年長児が小学校に上がるに当たって、今度は親御さんから離れて自分たちで歩いていかなければいけないということで、年長児対象に、広がって歩かないとか、壁のところにランドセルがクッションになってこうなると出ちゃうとか、交通安全教室の中で、こういうところを気をつけようねというところを、専門の方に来ていただいてやっています。

でも、このプロジェクトと併せて、園のほうにも改めて子どもたちに話したりすることはやっていこうと思います。ありがとうございます。

教育長 ありがとうございます。

改善点、幾つかご指摘ございましたので、よろしく願いいたします。

それでは、議案第3号 令和4年度交通事故0「ゼロ」プロジェクトについては、承認ということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長 ありがとうございます。議案第3号は承認いただきました。

それでは、時間が長くなりましたので、ここで換気等のために、10分間休憩をいたします。再開は3時からお願いいたします。

(休憩)

教育長 それでは、会議を再開いたします。

◎議案第4号

教育長 議案第4号を議題とします。説明をお願いします。

教育部長 「安曇野市児童クラブ実施要綱の制定について」資料により説明。

教育長 ただいまの件について、ご質問、ご意見がございましたらお願いします。

(発言する者なし)

教育長 それでは、議案第4号 安曇野市児童クラブ実施要綱の制定については、承認ということよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長 ありがとうございます。議案第4号は承認いただきました。

◎議案第5号

教育長 続いて、議案第5号について議題といたします。

最初に、学校教育課、説明をお願いします。

学校教育課長 「共催・後援依頼について」資料により説明。

教育長 では、生涯学習課、説明をお願いします。

生涯学習課長 「共催・後援依頼について」資料により説明。

教育長 続いて、文化課、説明をお願いします。

文化課長 「共催・後援依頼について」資料により説明。

教育長 では、以上4件の共催・後援について、ご質問、ご意見がございましたらお願いします。

横内委員 今回の後援のことではないです。先月の7月定例会で、文化課所管の後援依頼の中に、親守詩の短歌の大会というのがある、承認されましたけれども、後日、このイベントの後援を承認した松本市が、後援を取り消したというのがありました。報道によると、特定の宗教と関連する団体が協賛しているという他のことでしたが、安曇野市は先月の件はどうなったのか教えてください。

文化課長 こちらの件、後でご説明をしようと考えておりましたが、今、よろしいでしょうか。

教育長 はい。

文化課長 第9回親守詩長野県大会の後援ということで、7月の定例会でご承認をいただきました。しかし、その後、新聞報道等で、旧統一教会との関連が疑われる団体が、協賛の団体の中に入っているということで、松本市は初め後援をしていたのですが、取り下げることになりました。

その後、こちらの実行委員会のほうから、この団体が協賛を取下げるという連絡が入ったということで通知をいただきました。

なので、特にその他は問題がないということで、安曇野市も後援となっておりましたけれども、市もそのまま、それから先日、報道でもありましたけれども、長野県の教育委員会も引き続き後援ということで決まりましたので、安曇野市の教育委員会としましても、引き

続き後援ということで、専決という形になってしまいましたけれども、お願いをしたいというふうに考えております。

以上です。

横内委員 ありがとうございます。よく分かりました。

一見して特定の宗教団体とは分からない名称とか、今、言ったような協賛を受けているとか、そういった後援依頼があった場合、もちろん私どもも分からなかったですし、判断は非常に難しいと思うのですけれども、今後どのような対策が取れるのかなと思います。

8月24日に教育委員の研修に参加しましたが、その中で講師の信州大学の荒井先生が、「問い合わせただけであれば、私のところでおおむねどんな団体か分かる」とおっしゃっていましたが、どういうことかなと思って聞いていました。その辺のことを部長にお聞きしたいと思います。

教育部長 ありがとうございます。

非常に難しい、結局ネットワークもどれだけ張っていただけるかということだと思います。もちろん日頃の行動等も情報としてしっかり確認していきたいと思いますが、何よりも他の教育委員会、他市、県とかも含めてですが、そういったところと連絡を密にして、こういったところは、大体今回と同じパターンでいろんなところに出てくると思いますので、安曇野市だけに出てくるとは、あるかもしれないですが、あまり考えられないものですから、そういったネットワークをしっかり張っていききたいと思います。

貸館みたいなのところも、やはりネットワークを持って、こういった団体はというような情報交換をたしかしていると思いますので、そういった中でもいろいろ含めて、ネットワークをしっかり構築していきたいと思います。

教育長 よろしいでしょうか。

横内委員 はい。

教育長 他にございますか。

(発言する者なし)

教育長 それでは、以上、学校教育課の後援1件、生涯学習課の後援2件、文化課の共催1件について、承認ということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長 ありがとうございます。議案第5号の4件については全て承認いただきました。

◎報告第1号

教育長 次に、報告事項に移ります。

この報告事項につきましては、安曇野市教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則に基づき、私が専決処分等を行った事柄につきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第3項の規定により、ご報告させていただくものです。

最初に、報告第1号について、説明をお願いします。

教育部長 「安曇野市議会 令和4年6月定例会における一般質問等について」資料を読み上げ。

教育長 ただいまの件について、ご質問、ご意見がございましたらお願いします。

(発言する者なし)

教育長 それでは、報告第1号 安曇野市議会令和4年6月定例会における一般質問等については、了承ということよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長 ありがとうございます。報告第1号は了承いただきました。

◎報告第2号

教育長 次に、報告第2号について説明をお願いします。

学校教育課長 「安曇野市コミュニティスクール事業 学校運営協議会の開催状況について」資料を読み上げ。

教育長 ただいまの件について、ご質問、ご意見がございましたらお願いします。

横内委員 頂いた資料を見させていただいて、学校運営協議会、それぞれの地域で様々なことがあるのだなということが分かりました。

コーディネーターがいらっしゃって、まとめてくださっているのだと思いますが、自分たちの学校の学校運営協議会に足りないところはこういうところかなという意見の交換というか、もしいい形ができてい学校があるとしたら、その学校を参考にしながら、全く同じではないにしても、形づくれることがあるのかな、そういう情報の共有とか意見交換とかが、協議会同士でできたらよいなということを思います。どうでしょうか。

学校教育課長 そうですね、やはりいろいろと進んでいるところと、なかなかうまく協議が進

んでいないところと、差があります。やっぱりここに出ていた学校教育課の職員なりとか、どこどこではどういうふうな会議になったという情報提供をするとともに、このようなそれぞれの協議会が、意見というか、どのような進捗状況だとか、そういうものを確認し合うような、状況を共有し合うような場というものも必要なのかなというのを感じておりますので、またその辺は検討していきたいと思っております。

横内委員 続けてお願いします。

先ほどの点検・評価の中にも触れてありましたが、一番は、安曇野市コミュニティスクール事業の周知ということが十分にされていない現実があります。

今回頂いた豊科東小の学校だよりの中に、コミュニティスクール事業の活動や目的についての説明がしてありました。今回の花壇づくりの目的は、地域の方と仲よくなること、地域の方にもきれいだなと思ってもらえる学校にするという説明が、とても分かりやすかったです。回覧板で、この学校だよりは地域を回ると思いますが、多くの方に読んでほしいです。

また、広報あづみの8月号の中に、地域学校協働活動として、堀金小学校の拾ヶ堰クリーン大作戦に参加者を募る堀金公民館発信のものが載っていました。こういったものもとても大事になってくるのかなと思います。

以上です。

学校教育課長 ありがとうございます。

そうですね。そういうそれぞれの協議会からの広報等もありますし、教育委員会もそれに併せて広報もありますし、学校はいろいろな立場で、いろいろな情報をそれぞれに出していただければなと思っておりますので、またその辺はこちらのほうから促していきたいと思っております。ありがとうございます。

教育長 他にございますか。

須澤委員 67ページの学校運営協議会の概要を見ますと、例えば3・4・5、豊科北小・東小・豊科北中は、全て会長に丸山武人元教育長が選ばれております。

明科地区で、今、用意されています小中一貫教育につきまして、横内委員からもご提案がありましたけれども、3・4・5の共同学区の小中の連携ないし一貫というものについて、今の情報共有をしていただくことで、課題を認識していただくいい機会になるのではないかと、この会長名を見まして思ったわけです。

別の件ですが、やはり新たな学校運営協議会になりましたので、どの会長さんも元学校長が大半ですね。ですので、皆さん学校のことをよくご承知になっているのではないかなと。

学校長もご承知の上で選ばれたと思うのですが、いい学校運営協議会が期待できるのではないかと、こういうふうに思っています。

その2点でございます。

学校教育課長 そうですね。会長さんにつきましては、校長が指名するような形になっているものですから、たまたまというのか、3校同じ会長さんになったということもありますので、そういう部分では、いろいろそれぞれの学校のいい部分、特徴があると思います。そういうところはうまく利用していただければなと思っておりますし、あと、どうしてもやはり学校関係のOBの方が会長さんになられるということで、その考え方とかその辺の運営協議会の進め方の中で、どうしても学校寄りの考えが先にいっちゃうのかなという部分もあるものですから、いろいろバランス等も考えて、その辺は考えていかなければいけないかなと思います。どうしても今のところは元学校OBの方という形にはなっているのですけれども、それはそれで学校に詳しいということで、いい部分もあると思いますが、またその辺は何回もやっていくうちに、考えていかなければいけないのかなとは思っております。

以上です。

教育長 よろしいですかね。

須澤委員 はい。

教育長 他にございますでしょうか。

(発言する者なし)

教育長 それでは、報告第2号 安曇野市コミュニティスクール事業 学校運営協議会の開催状況等については、了承ということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長 ありがとうございます。報告第2号については了承いただきました。

◎報告第3号

教育長 続いて、報告第3号について説明をお願いします。

学校給食課長 「令和3年度安曇野市学校給食費会計決算の報告について」資料を読み上げ。

教育長 ただいまの件について、ご質問、ご意見がございましたらお願いします。

(発言する者なし)

教育長 それでは、報告第3号 令和3年度安曇野市学校給食費会計決算の報告については、

了承ということによろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長 ありがとうございます。報告第3号については了承いただきました。

◎報告第5号

教育長 続いて、報告第5号について説明をお願いします。

最初に、生涯学習課、お願いします。

生涯学習課長 「後援依頼の教育長専決分の報告について」資料を読み上げ。

教育長 次に、文化課、説明をお願いします。

文化課長 「後援依頼の教育長専決分の報告について」資料を読み上げ。

教育長 続いて、子ども家庭支援課、説明をお願いします。

教育部長 「後援依頼の教育長専決分の報告について」資料を読み上げ。

教育長 では、以上9件の後援について、ご質問、ご意見がございましたらお願いします。

(発言する者なし)

教育長 それでは、生涯学習課の後援1件、文化課の後援5件及び子ども家庭支援課の後援3件については、了承ということによろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長 ありがとうございます。報告第5号、後援9件については全て了承いただきました。

◎報告第6号

教育長 続いて、報告第6号に移ります。

最初に、学校教育課から報告をお願いします。

学校教育課長 「教育部各課報告」について資料を読み上げ。

教育長 次に、学校給食課から報告をお願いします。

学校給食課長 「教育部各課報告」について資料を読み上げ。

教育長 続いて、生涯学習課から報告をお願いします。

生涯学習課長 「教育部各課報告」について資料を読み上げ。

教育長 続いて、文化課から報告をお願いします。

文化課長 「教育部各課報告」について資料を読み上げ。

教育長 続いて、子ども家庭支援課から報告をお願いします。

教育部長 「教育部各課報告」について資料を読み上げ。

教育長 最後に、こども園幼稚園課からお願いします。

こども園幼稚園課長 「教育部各課報告」について資料を読み上げ。

教育長 以上、教育部各課からの報告について、ご質問、ご意見がございましたらお願いします。

須澤委員 98ページへ戻って、学校教育課の就学事務で、ここに新入学予定者名簿の件がありました。新入学予定者人数を全市的にどのくらいかというのが知りたいなというふうに思っております。次回で結構でございますが、もしできればお願いできたらと思っています。

学校教育課長 ちょっと今、手元がないものですから、調べさせていただきます。

須澤委員 次回で結構です。

教育長 では、次回、報告ということでお願いいたします。

他にございますか。

(発言する者なし)

教育長 それでは、この件につきましては、了承ということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長 ありがとうございます。報告第6号については全て了承いただきました。

以降の議題につきましては、非公開といたします。

(以後、非公開)

◎議案第2号 令和5年度に安曇野市内小学校で使用する特別支援学級用教科用図書
の採択について

◎報告第4号 学校給食費滞納分の取り扱いについて

◎報告第7号 令和4年度児童生徒の指定校変更及び区域外就学者

◎報告第8号 教育長報告

(以下、公開)

◎その他

教育長 次に、その他の事項に移ります。

(2) その他

教育長 最後にその他、委員の皆様または事務局から何かありましたらお願いいたします。

(発言する者なし)

教育長 では、以上で本日の定例会に付議させていただいた案件は全て終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

◎閉 会

教育部長 以上をもちまして、安曇野市教育委員会令和4年8月定例会を閉会といたします。

お疲れさまでございました。